

広めようホタルの いのち



未来に残そう

発行者
三原市立 楓梨小学校
四年生 松川治米 玲重
日和
発行日
平成二十四年一月十日



わだごはのまし
かとれ、生し
りいて少物た
まういしが。
ましこなし住こ
たといがむれ
。が川よ川ら

みかシヒニは
ら外ジルナカ
れくニ・。

A photograph of a fly larva (maggot) is shown in a clear plastic tray with several compartments. The larva is white and segmented, with a dark head and prolegs.

②ホタルのたまごから産まれた幼虫を取りわけるそうちを作りました。コケについたたまごから下産まれた幼虫に落ちます。



ホタルを



広める ために



①メスとオスを
力ゴに入れ、た
まごを産むまで
自分たちの家で
九年間かいまし
た。中にコケを
入れ、ホタルの
エサの水をきり
ふきで毎日あげ
ました。

ホタルのほご活動をしてる人にインタビュー



満汐 吉川

会をするタルの放に流
てまし 約に虫がも 初か數え
た。五百で約な初か數え
てまし、**ンチ**幼一ミリた。**三七**
四



すいに統合して、合併するまでの間は、少しあまり石けんを使わなかった。しかし、洗濯用のタルタルを大和町に送るようになった。それで、タルタルがたくさん飛んで、川に流れます。